

中 工 七 合 四 七 合 七 七 五 工 四 上

中 工 合 工 合 五 工 ○ 四 合 四 上 合 上

中 上 合 工 合 乙 四 中 王 上 老 四 工

四 サ ー キ 合 四 上 合 中 工 中 中 上 老 四 工 四

上 ラ ノ ハ 合 工 合 五 工 合 工 合 五 合

五 ユ イ ク 合 五 七 五 五 工 中 上 合

中 ホ ニ ヒ キ ト メ ル ○ 四 合 四 上 合 上

中 リ ヌ チ ン ダ ラ カ ヌ シ ヤ マ ヨ

一、サー君は野中のいばらの花か
サーユイユイ
暮れて帰ればやれほにひきとめる
マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ

二、サー嬉し恥ずかし浮名を立てて
サーユイユイ
主は白百合やれほにままならぬ
マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ

三、サー田草取るなら十六夜月よ
サーユイユイ
二人で気がねにやれほに水入らず
マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ

四、サー染めて上げましよ紺地の小袖
サーユイユイ
掛けておくれよ情けのたすき
マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ

五、サー沖繩よいとこ一度はめんそうれ
サーユイユイ
春夏秋冬緑の島よ
マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ